

157

第 期

中間株主通信

平成30年4月1日 >

平成30年9月30日



美濃窯業株式会社
MINO CERAMIC CO.,LTD.

証券コード：5356

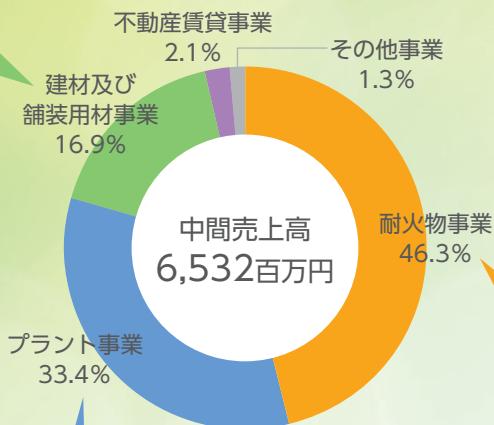
美濃窯業グループの使命

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。

一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。

事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工



耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラミックスの製造・販売



工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第157期第2四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに第2四半期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田滋俊



事業概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、西日本豪雨などの自然災害に加え、米中貿易摩擦の激化、新興国の通貨安等による影響が懸念され先行き不透明な状況が継続しております。

こうした状況のもと、当社の主要顧客であるセメント業界は、セメントの国内需要が概ね横ばいで推移する中、耐火物事業については、新規顧客の積極的な開拓と、原料価格高騰分の一部の価格転嫁が浸透したことに加え、プラント設備販売に伴うキルンファニチャー需要を取り込んだことで売上高・利益面共に前年同四半期を上回る結果となりました。

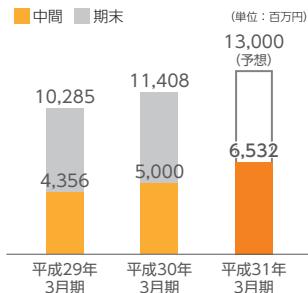
プラント事業については、企業収益が高水準で推移し設備投資環境が堅調に推移する中、特に半導体製造装置向け

セラミックス製造設備が好調であり、採算性の向上や各種コストダウンの施策に取り組んだ結果、売上高・利益面共に前年同四半期を上回る結果となりました。

建材及び舗装用材事業については、公共投資の受注が堅調に推移したことにより売上高は順調に推移しました。一方、利益面では工事作業員の不足及び資材コストの上昇に加え、受注競争の激化もあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高6,532百万円（前年同四半期比30.7%増）、営業利益903百万円（前年同四半期比101.1%増）、経常利益932百万円（前年同四半期比96.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益620百万円（前年同四半期比107.2%増）となりました。

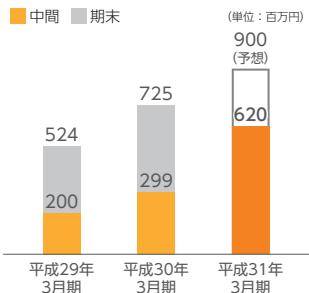
売上高



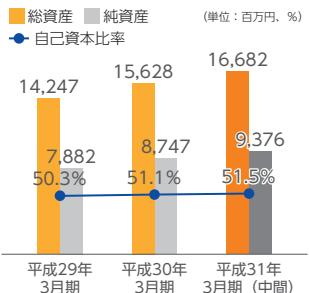
経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



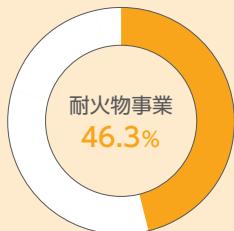
総資産／純資産／自己資本比率





セグメント別の概況

構成比



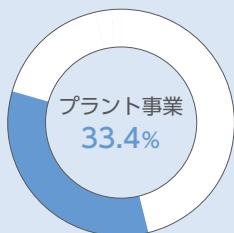
売上高



キルンファニチャー需要の取り込み

耐火物事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,025百万円（前年同四半期比54.8%増）、セグメント利益は372百万円（前年同四半期は75百万円のセグメント利益）となりました。

構成比



売上高



半導体製造装置向けセラミックス製造設備が好調

プラント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,184百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益は387百万円（前年同四半期は239百万円のセグメント利益）となりました。

構成比



売上高



公共投資の受注が堅調に推移

建材及び舗装用材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,102百万円（前年同四半期比9.3%増）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期は54百万円のセグメント利益）となりました。

構成比



売上高



遊休不動産の積極活用

不動産賃貸事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は134百万円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益は70百万円（前年同四半期は73百万円のセグメント利益）となりました。

※その他事業として売上高は85百万円（前年同四半期比197.5%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期は3百万円のセグメント利益）となりました。



「名証IRエキスポ2018」初出展

7月20日（金）・21日（土）に、「名証IRエキスポ2018」に当社グループとして初めて出展しました。当社ブースも多数の投資家にご訪問頂き、ミニ説明会では立ち見も出る程の盛況となりました。また、当社社長が「BS12トゥエルビ」に取材され、投資情報番組『マーケット・アナライズplus+』で紹介されました。



来客対応の様子



「BS12トゥエルビ」取材の様子

市場需要に応える設備投資

企業収益が高水準で堅調に推移する中、旺盛なキルンファニチャー需要に対応するため成形プレス及び焼成炉など、新たに設備投資を行いました。新設備は生産能力及び省エネ性能に優れており、生産コストの圧縮も可能となりました。

20号トンネルキルンは創業以来20番目の焼成炉となりますが、シャトルキルンも含めて自社設計の高性能セラミックス用焼成炉となります。



20号トンネルキルン



600ton油圧プレス

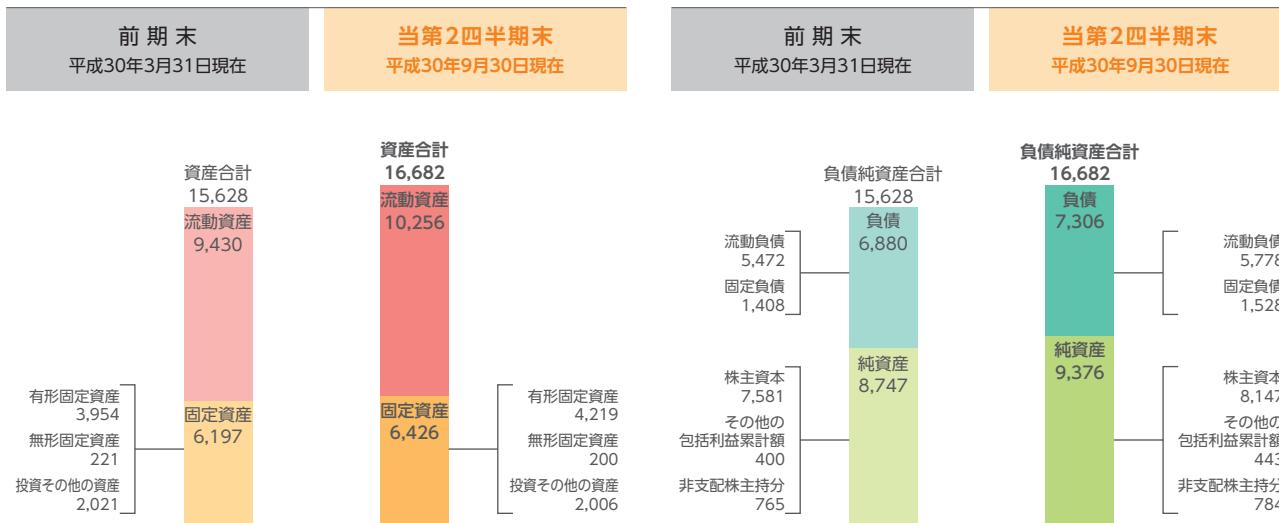


6m3シャトルキルン



第2四半期連結貸借対照表の概要

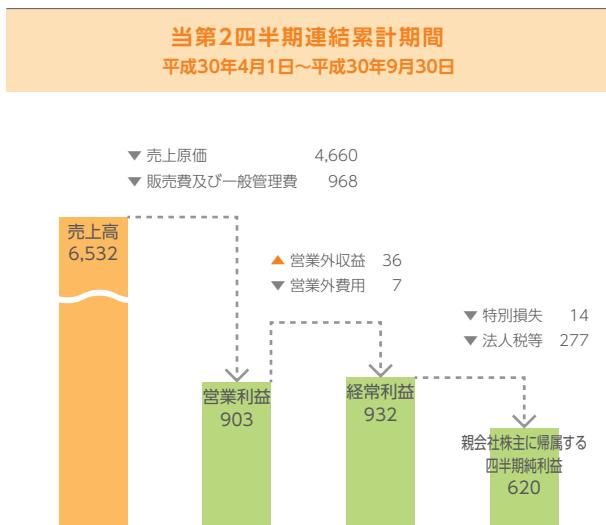
(単位：百万円)



※当連結会計年度より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用しており、前期末につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

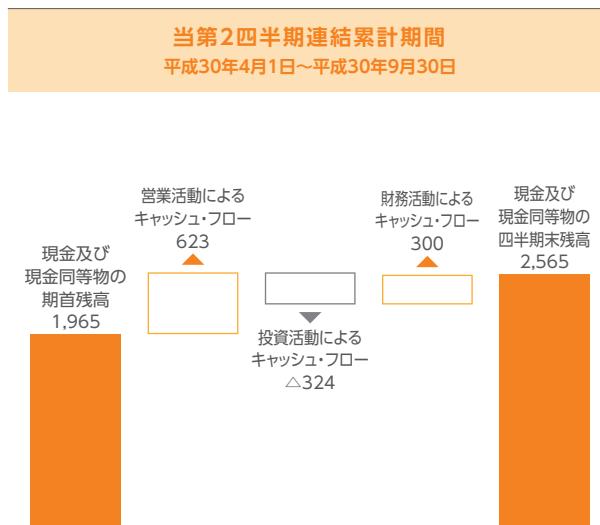
第2四半期連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)





会社概要

会社名	美濃窯業株式会社 MINO CERAMIC CO.,LTD.
設立	大正7 (1918) 年8月14日
資本金	8億7,700万円
従業員数	連結322名 (単体261名)
事業内容	耐火物および耐火材料の製造販売 工業窯炉および付帯品の設計 製作・施工・販売 熱処理・自動化プラントの設計・建設 建築材料および舗装用材の製造・施工・販売 工業用セラミックス製品の製造販売
本社	本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地 本社事務所：愛知県名古屋市中区名駅南 1丁目17番28号
グループ会社	美州興産株式会社 株式会社ビョーブライト ミノセラミックス商事株式会社 日本セラミックエンジニアリング株式会社

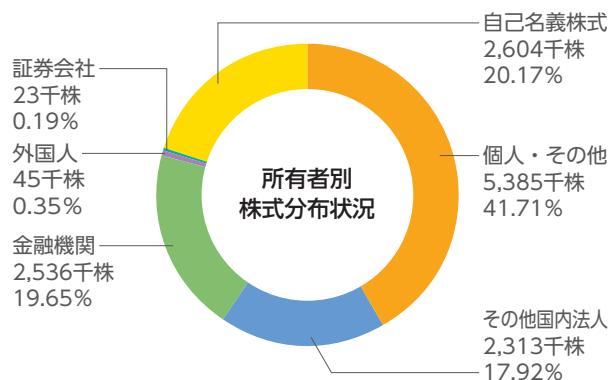
役員

代表取締役社長	太田 滋 俊
取締役 専務執行役員	中島 正 也
取締役 執行役員	山田 俊 彦
取締役 執行役員	長谷川 郁 夫
取締役 執行役員	熊澤 猛
取締役 執行役員	石川 豊
取締役 監査等委員	小塚 永生
社外取締役 監査等委員	高野 正和
社外取締役 監査等委員	春日井 孝

株式の状況

発行可能株式総数	31,960,000株
発行済株式の総数	12,909,828株 (自己株式2,604,356株を含む)
単元株式数	100株
株主数	808名

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月（議決権の基準日 毎年3月31日）
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

（電話照会先） 0120-782-031（フリーダイヤル）
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

公告の方法 電子公告（当社ホームページに掲載）

ホームページアドレス
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

美濃窯業株式会社

（お問い合わせ先）

愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221

ホームページのご案内

ホームページに会社情報や事業紹介、IR情報、及び最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

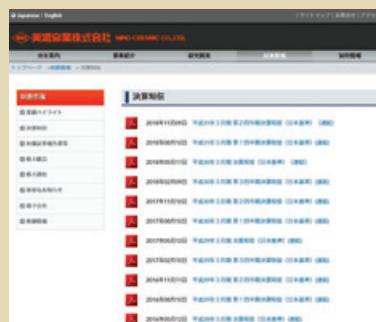
<http://www.mino-ceramic.co.jp/>

美濃窯業

検索



▲ トップページ



▲ 財務情報（決算短信）

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

